

### 3. 令和5年度見直し基準適合状況の検証について

令和元年度に策定した「ミニバス及び丘陵地ワゴンタクシーの路線見直し基準」への適合状況を検証します。

#### (1) ミニバスの見直し基準適合状況

##### ① 見直し基準について

###### ■ 需要量に関する見直し基準値

見直し検討候補路線の選定基準: キロ当たり利用人数(年平均値)が1人/km以下

上記に該当した路線を対象にバス停別乗降調査を実施し、以下の基準により「見直し検討対象路線」を選定

見直し検討対象路線の選定基準: 全ての便において車内最大乗客人数が9人以下

###### ■ 財政負担額に関する見直し基準値

見直し検討対象路線の選定基準: 収支率が20%未満

「需要量に関する見直し基準値」及び「財政負担額に関する見直し基準値」のどちらか一つにでも適合した場合、見直し検討対象路線とする

##### ② 見直し基準適合状況検証

令和5年度のミニバスの運行実績及び路線別収支率は下表のとおりです。全ての路線でキロ当たり利用人数(年平均値)が1人/kmを上回っており、また収支率20%を上回っているため、見直し検討候補路線に選定される路線はありません。

路線名	年間 利用人数 (人/年)	日平均 利用人数 (人/日)	日運行距 離 (km/日)	キロ当たり 利用人数 (人/km)	収支率
市内路線	320,264	875	383.79	2.28	53.6%
三沢台路線	305,811	836	309.55	2.70	66.7%
南平路線	464,840	1270	508.68	2.50	63.1%
旭が丘循環路線	105,703	289	108.92	2.65	58.9%
落川路線	143,417	392	122.85	3.19	29.2%
平山循環路線	107,099	293	188.16	1.56	26.3%
川辺堀之内路線	156,023	426	101.01	4.22	124.0%
合計	1,603,157	4,380	1,722.96	2.54	58.0%

## (2)ワゴンタクシーの見直し基準適合状況

### ①見直し基準について

#### ■需要量に関する見直し基準値

見直し検討候補路線の選定基準:キロ当たり利用人数(年平均値)が0.4人/km以下

上記に該当した路線を対象に停留所別乗降調査を実施し、以下の基準により「見直し検討対象路線」を選定

見直し検討対象路線の選定基準:「個別にタクシーを利用した場合の運賃の合計値」が「前年度の丘陵地ワゴンタクシー便当り運行経費」よりも安い

なお「個別にタクシーを利用した場合の運賃の合計値」は、停留所別乗降調査結果で把握した平均乗車距離と最新の「多摩地区タクシー運賃表(普通車)」より1人当たりのタクシー運賃を算出し、その結果に停留所別乗降調査における平均乗車人数を乗じることにより算出する。

【参考】多摩地区のタクシー運賃(普通車)※2023年11月20日改定

距離制運賃	初乗り運賃	最初の1.091kmまで500円
	加算運賃	以後233mごとに100円

#### ■財政負担額に関する見直し基準値

見直し検討対象路線の選定基準:収支率が15%未満

「需要量に関する見直し基準値」及び「財政負担額に関する見直し基準値」のどちらか一つにでも適合した場合、見直し検討対象路線とする

### ②見直し基準適合状況検証

令和5年度のワゴンタクシーの運行実績及び路線別収支率は下表のとおりです。明星ルートは需要量・財政負担額の基準を共に上回っていますが、平山ルートのキロ当たり利用人数は0.22人と基準を下回っており、収支率についても13.3%と基準を下回っているため、見直し検討対象路線に選定されます。

路線名	運行日数 A	年間 利用人数 (人/年) B	日平均 利用人数 (人/日) C=B/A	日運行距離 (km/日) D	キロ当たり 利用人数 (人/km) C/D	収支率
明星ルート	243	16,390	67.45	153.12	0.44	22.3%
平山ルート	243	6,741	27.74	125.89	0.22	13.3%
合計	243	23,131	95.19	279.01	0.34	18.6%

### ③見直しについて

ワゴンタクシー「平山ルート」については、令和2年度から継続的に見直し検討対象路線となっていますが、コロナ禍という特殊要因のため見直しせず現状維持してきました。しかし令和5年度には、ミニバスは概ねコロナ前の利用状況に回復しつつある一方で、ワゴンタクシーはコロナ前の8割程度までしか利用者が回復していません。

またワゴンタクシー「平山ルート」では令和5年5月から、全体の利用状況の改善にも期待して「東豊田三丁目」停留所の新設および経路変更の実証実験を実施していますが、効果が得られていない状況です。

実証実験期間は残り約1年あるため、今年度は見直しせず引き続き現状どおり運行することとし、実証実験終了後に本格運行への移行の有無も含め、平山ルートの改善について検討していきます。